

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成16年10月28日(2004.10.28)

【公表番号】特表2000-503331(P2000-503331A)

【公表日】平成12年3月21日(2000.3.21)

【出願番号】特願平9-525978

【国際特許分類第7版】

C 0 9 J 133/06

C 0 8 F 2/44

C 0 8 F 8/00

C 0 9 J 121/00

C 0 9 J 201/00

// C 0 8 F 20/10

【F I】

C 0 9 J 133/06

C

C 0 8 F 2/44

C 0 8 F 8/00

C 0 9 J 121/00

C 0 9 J 201/00

C 0 8 F 20/10

【手続補正書】

【提出日】平成15年11月14日(2003.11.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成15年11月14日

特許庁長官 今井康夫 殿

1. 事件の表示

平成9年特許願第525978号

2. 補正をする者

名称 ミネソタ マイニング アンド マニュファクチャリング
カンパニー

3. 代理人

住所 〒105-8423 東京都港区虎ノ門三丁目5番1号 虎ノ門37森ビル
青和特許法律事務所 電話 03-5470-1900

氏名 弁理士(7751)石田 敬



4. 補正対象書類名

請求の範囲

5. 補正対象項目名

請求の範囲

6. 補正の内容

請求の範囲を別紙の通り補正します。

7. 添付書類の目録

請求の範囲

1通

方
式
審
査
佐
藤



請求の範囲

1. (a)少なくとも1種のC₄-C₁₄アルキル(メタ)アクリレートモノマー及び任意に少なくとも1種のコモノマーを含む重合性出発材料の反応生成物である、複数の高分子エラストマー微小球、
(b)重合性モノマー出発材料100重量部あたり0.1～約2重量部の範囲の量で存在する、重合性モノマー出発材料用の開始剤、
(c)任意に、微小球100重量部あたり約0.1～約3重量部の量の高分子安定剤、
(d)微小球100重量部あたり約5重量部以下の量の界面活性剤、及び
(e)前記微小球に30～98%のヘプタン可溶性部分を生じさせるに十分な量の連鎖延長剤を含む接着剤組成物。
2. (a)(i)少なくとも1種のC₄-C₁₄アルキル(メタ)アクリレートモノマー及び任意に少なくとも1種のコモノマーと、
(ii)重合性モノマー出発材料100重量部あたり0.1～約2重量部の範囲の量で存在する、重合性モノマー出発材料用の開始剤と、
(iii)任意に、重合性モノマー出発材料100重量部あたり約0.1～約3重量部の量の高分子安定剤と、
(iv)重合性モノマー100重量部あたり約5重量部以下の量の界面活性剤と、
(v)前記微小球に30～98%のヘプタン可溶性部分を与える量の連鎖延長剤を含む重合性モノマー出発材料を含む混合物を攪拌する工程と
(b)前記(メタ)アクリレートモノマーと前記コモノマーを重合する工程とを含む、請求項1に記載の微小球接着剤の1工程重合方法。
3. (a)(i)少なくとも1種のC₄-C₁₄アルキル(メタ)アクリレートモノマーと、
(ii)重合性モノマー出発材料100重量部あたり約0.1～約3重量部の量の高分子安定剤、モノマー用開始剤と、
(iii)重合性モノマー出発材料100重量部あたり約5重量部以下の量の界

面活性剤と、

(iv)前記微小球に30～98%のヘプタン可溶性部分を与えるに十分な量の連鎖延長剤と、

(v)水中油型懸濁液を形成するための水と
を含む重合性モノマー出発材料を含む混合物を攪拌する工程と

(b)重合性モノマー出発材料を部分的に重合する工程と

(c)懸濁液に少なくとも1種のコモノマーを加える工程と

(d)重合性モノマー出発材料の重合を続ける工程と

を含む、請求項1に記載の微小球接着剤の2工程重合方法。

4. (a)(i)少なくとも1種のC₄～C₁₄アルキル(メタ)アクリレートモノマー
及び任意に少なくとも1種のコモノマーと、

(ii)重合性モノマー出発材料100重量部あたり0.1～約2重量部の範囲の量で存在する、重合性モノマー出発材料用の開始剤と、

(iii)任意に、重合性出発材料100重量部あたり約0.1～約3重量部の量の高分子安定剤と、

(iv)重合性モノマー100重量部あたり約5重量部以下の量の界面活性剤と、

(v)前記微小球に30～98%のヘプタン可溶性部分を与えるに十分な量の連鎖延長剤

を含む重合性モノマー出発材料を含む水性混合物を攪拌する工程と

(b)前記(メタ)アクリレートモノマーと前記コモノマーを重合する工程と
を含む、高分子エラストマー微小球を含む水性混合物の製造方法。

5. (a)(i)少なくとも1種のC₄～C₁₄アルキル(メタ)アクリレートモノマー
と、

(ii)モノマー用開始剤と、

(iii)重合性出発材料100重量部あたり約0.1～約3重量部の量の高分子
安定剤と、

(iv)重合性モノマー出発材料100重量部あたり約5重量部以下の量の界
面活性剤と、

(v)前記微小球に30~98%のヘプタン可溶性部分を与えるに十分な量の連鎖延長剤と、

(vi)水中油型懸濁液を形成するための水と
を含む重合性モノマー出発材料を含む混合物を攪拌する工程と
(b)重合性モノマー出発材料を部分的に重合する工程と
(c)懸濁液に少なくとも1種のコモノマーを加える工程と
(d)重合性モノマー出発材料の重合を続ける工程と
を含む、高分子エラストマー微小球を含む接着剤組成物の製造方法。